

警 察 署 協 議 会 会 議 録

西警察署協議会

開催年月日時	令和3年12月1日 午後4時20分 から 令和3年12月1日 午後5時15分 まで	
開催場所	福岡県西警察署 5階大会議室	
出席者	警察署協議会	会長以下10名
	警 察 署	署長、副署長、会計管理官、刑事管理官 総務課長、留置管理課長、生活安全課長 地域課長、刑事第一課長、刑事第二課長 交通課長、警備課長、事務局
議 事 概 要		
【会長挨拶（要旨）】 前任の会長・副会長が今年の3月末をもって退任され、新たに2名の協議会委員が加わり、初めての協議会となる。 令和3年の西警察署の三大重点「暴力団の壊滅」「飲酒運転の撲滅」「性犯罪の根絶」のほか、「ニセ電話詐欺」「ストーカー・児童虐待」「高齢者事故等の抑止」などの重点目標を掲げ、西警察署署員一同が、日夜を問わず活動していただいていることに対し、代表して感謝を申し上げる。 本日は、短い時間であるが、ほかの協議会委員とともに有意義な協議会としたい。 【副会長挨拶（要旨）】 若輩者であるが、役に立てるよう精一杯、副会長職を務め、会長とともに、西警察署協議会を盛り上げていきたいと思う。 また、西区の治安を守っている西警察署署員一同に対し、感謝を申し上げる。 【署長挨拶（要旨）】 本日は、新型コロナウイルスも落ち着き、約10か月ぶりの協議会となる。 西警察署長として着任して初めての協議会となるが、私自身、警察署協議会と深い縁がある。平成13年に発足した警察署協議会制度は、警察の不祥事から始まった警察改革の一つの制度で、当時、私は警察本部で担当係長として立ち上げメンバーに加わり、更に、数年後には、担当課長補佐として警察署協議会に携わってきた経緯がある。 さて、本年の治安概況について、10月末現在で、刑法犯認知件数が減少し、交通事故による死亡者数は福岡市内で西署だけ発生がなく、交通事故の総数も減少している。 また、「不同意堕胎事件の逮捕」「横浜における死体遺棄・殺人事件の逮捕」「詐欺及び出資法違反事件検挙に伴う警察庁長官賞受賞」「工藤會、道仁会による特殊詐欺事件検挙に伴う九州管区警察局長賞受賞」など大きな事件を検挙しているほ		

議 事 概 要

か、先月開催された、県下白バイ大会において、女性警察官の部で当署交通指導係員が優勝したことも併せてお知らせする。

最後に、「西区の安全安心の実現」を合言葉に、署員、一致団結して1件でも事件、事故を減少させることができるように、各種警察活動に取り組んで参る所存であるので、御理解と御協力をお願いする。

【各委員挨拶】

【報告事項】

- 1 令和3年1月から10月までの治安概況について（総務課長）
- 2 西区横浜における殺人・死体遺棄事件について（刑事第一課長）
- 3 マリノアシティ福岡周辺での暴走族等対策について（交通課長）

【質疑応答】

- 委員から「高齢者のアクセルとブレーキの踏み間違いによる事故について、ブレーキとアクセルの位置及び間隔が原因によるものと思うが、同様の事故防止のため、どのような対応をとっているのか。」旨の質疑があり、交通課長から「各企業が力を入れ、自動ブレーキ装置や踏み間違い防止装置を搭載した車両を製造販売している。警察としても、講演活動等を通じて、各種装置の紹介のほか、高齢者に対する免許返納制度についての説明を行い、悲惨な事故を減らすべく活動を進めている。」旨の回答があった。
- 委員から「青パト（地域防犯パトロール車）の自主活動について、ボランティアの高齢化が進み、若者の参加を積極的に進めているが、青パトの警察の講習会について、若者は夜に受けたいとの時間的な問題等があるので、そのような対応は可能か。」旨の質疑があり、生活安全課長が「地域の安全は、警察と地域の協働・協力によって成り立つもので、青パトの講習会について、要望があれば希望の時間帯に行うなど、柔軟な対応を行っているので、今後も、同様にしていきたいと思う。また、あらゆる活動を通じて、地域防犯の重要性を訴え、若い方にも積極的に協力してもらえるようにしていく。」旨の回答があった。
- 委員から「ホームページで交通事故発生の地図を確認した際、発生場所はわかるが、詳細まで表示されていないため、進行方向の略図や時間帯を追加することによって、より分かり易く注意喚起ができるのではないか。」旨の質疑があり、交通課長から「西警察署や県警本部のホームページから交通事故発生マップを閲覧することができるが、詳細なことをどこまで表示するかは、ルールが定められていることから、あらゆる機会を通じて、情報を提供していきたいと考えている。」旨の回答があった。
- 委員から、「通勤時間帯等に、中・高校生による自転車の並列運転や2人乗り運転を多く見かけ、危険に感じるところがあるので、登下校に合わせた巡回をお願いしたい。また、青パトの巡回も併せて活動してみてはどうか。」という意

議 事 概 要

見があり、生活安全課長が「青パトの活動については、地域ごとの自主防犯であることから、講習会の機会等を通じて、要望のある時間帯や登下校時間帯など効果的な活動について広報していく。」旨を回答し、副署長から「交通関係要望として、交通課及び地域課が協同して、交通安全教育及び登下校時間帯の指導取締りを行っていく。」旨の回答があった。

【閉会】

以上で、令和3年第2回西警察署協議会を閉会する。